

譚

久知蓋開口之義作阿比恐非

〔倭名類聚抄〕病譚 張揖云譚難天二音舌不正也

〔箋注倭名類聚抄〕病按之多都岐見源氏物語朝顔卷今昔物語所引文未知出典按玉篇譚言不正廣韻同此舌蓋言字之譌

〔倭名類聚抄〕病重舌 病源論云舌本血脈脹然變生如舌之狀謂之重舌也

〔箋注倭名類聚抄〕病原書作心脾有熱熱氣隨脈衝於舌本血脈脹起變生如舌之狀在舌本之下謂之重舌下總本無也字醫心方同訓按古之太又見奇疾畫卷蓋小舌之義注文五字舊及山田本昌平本曲直瀨本皆無那波本同獨下總本有之今附存按伊呂波字類抄亦有是訓

〔異疾草紙〕こじたといひてまたのねにちゐさきまたのやうなるものかさなりておいづるこ  
とありやまひおもくなりぬればはらにはうゑたりといへらんのむと飲食をうけずおもくな  
りぬればまぬるものなり

〔醫心方〕二十五治小兒重舌方第五十一

病源論云小兒重舌者心脾熱故也其狀附舌下如舌而短故謂之重舌也

〔瘍科秘錄〕八重舌

重舌ハ俗ニ云フコジタナリ大人ニ少ク小兒ニ多シ舌下へ息肉ヲ生ジ尖起シテ舌端ノ如シ長  
サ七八分ニ至ルモアリ左右へ二片ニナリテ生ズルモアリ或ハ數片ニナリ舌本ヲ圍テ蓮花ノ  
形ニ出ルモノヲ蓮花舌ト云フ何レモ一病ナリ腫痛シテ舌モ木強ニナリ言語飲食等モ不自由  
ニテ多ク涎ヲ流シ頷下ニ核ヲ結ビ大サ梅子ノ如クニシテ痛ミ或ハ色ヲ變ジ或ハ膿ヲ成スモ  
アリ幼少ニテ未ダ言ズ痛所ヲ告ルコトノナラヌモノ卒ニ乳ヲ哺ズ但氣ムツカシク涎ヲ多ク  
流シ頷下ノ漫腫スルモノハ必重舌ナリ